



# おかむら通信 161号

平成30年9月号

## 長月 ながつき

### ごあいさつ

みなさん お元気にお過ごしですか？ 先月はいろいろご心配をおかけしました。しかもお休みの日が多くてすみませんでした。それぞれのことは、毎月の仕事のごとく地道に片付いてきています。又何かがあったらどんと構えていればいいのです。むこうから退いてゆくでしょう。

それにしても、このところ、権力をかさにして強引に欲を押しとうそうとする輩が、弱い立場の人々に無理やり圧力をかけようとするという、かつてみないほどの現象が目立ちますね。世の中が、根底から崩れようとする予兆としてとらえられるかもしれません。

まじめな皆さん、負けないでください。ちからが大きくなくても心を同じくし響応する祈りがおおきくなれば、いつかこの世界の振り子が元に戻り始めます。

### 今月のことば

- 1 清いところは神を見る事ができる マザーテレサ
- 2 **first they ignore you, then they laugh at you, then they fight you, then you win.**

はじめに彼等は無視し、次に笑い、そして挑みかかるだろう。そうして

我々は勝つのだ。

Mahatma Gandhi (ガンジー)

### 院長から

1 難しく考えないで、体重管理は 食べる量 対 運動量 対 好物摂取 の差し引きですぞ。

2 もう一度言います 岡村胃腸科外科においては、ご自分半分、医者が半分、病気をひとのせいや 効かない薬のせいにしてはいけない。

3 夏の水分 塩分 摂取の 案配はむずかしいですね。

4 まじめなお母さんたちへ、お子さんや、お孫さんに振り回されるのはやめましょう。ほったらしいのです、愛情さえ注いでいればそれでいいのです。





5 人生をどう生きるか？ 一部のドクターがとてもひどいことを言っているのを耳にしました。高齢の方はもう治療する意味がない、外来に来る必要もないと。

高齢の方こそ色々なご経験をされ、われわれの大先生であります。

それなのにです。何故、こんなドクターが存在するようになってしまったのでしょうか。

6 岡村先生は、なぜ、初診時、待っている患者さんがいっぱいいるのに、時間をかけて、主訴以外の診察をするのですか？

お答えします。それが、総合診療学です。軽症にも重症な病気がかくれていたり、あとから発症したりします。今の病気の発症日時・経過・複数の病気が存在しないかが重要です。重症なケースはお帰りになってから病状がどう変化するか、その時になかなか受診できない方に、自宅で使う複数の薬の指導したりするのです。

7 ペインクリニック、これは概念が深すぎて、皆さんにはわかりにくいと思いますが、神経ブロックしたり、レーザーや光線療法をする以外に大事なポイントがあるのです。おいおいお教えいたしましょう。そう、なぜ効くときはそんなに効くのでしょうか？

#### 8月の院長の活動

4/ (土) 日暮町会 盆踊り大会 待機医師として参加 東大大学院生の奨学生  
生の曹くんとも参加 日暮、白髭神社

9/ (木) 当院 64列CT・中心に総点検

22/ (水) 関東甲信越厚生局へ

千葉市

23/ (木) 国際ロータリークラブ元ガバナー田中作治氏と討論会

松戸にて



日が暮れるのが早くなったなあと思ったら、  
夕焼けに赤トンボが飛んでいました。  
ようやく暑い夏が終わろうとしていますね。  
ニュースで今年の秋刀魚は豊漁という  
ことでしたので、秋を満喫できたらと思います。  
8月から新しいスタッフが仲間入りしました。

青木

島村と申します。慣れない事で皆様  
にご迷惑をおかけすると思いますが  
どうぞよろしくお願ひします。

